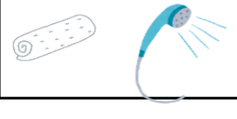
腟式子宮全摘術を受けられる方へ

患者ID:　　病棟:　　主治医　　担当医

氏名　　受持看護師

	入院日	手術前日	（手術前）　手術当日　（手術後）		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
目標	手術の受け入れができている。 手術前の検査が済んでいる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術の説明が分かる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。		体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。		傷から出血がない。 病棟内歩行ができる。		退院後の生活の注意点、外来受診の必要性もわかる。 傷から出血がない。
説明	看護師から、入院生活や手術前後の経過や処置について説明します。 	（主治医より） 手術について説明します。 （麻酔医より） 麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。 署名後、看護師にご提出ください。	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。 	主治医から、手術の結果について説明があります。 	 記入の必要な書類があれば、早めに提出してください。				（看護師より） 退院後の生活について説明します。 （主治医より） 退院後の外来受診や服薬などについて説明します。
検温	 適時	14時	6時・手術室へ行く前	帰室時1,2,3,6.時間後 それ以後翌日6時まで4時間毎(指示有り)	6時　10時　14時　19時	6時　10時　14時　19時	6時・14時	14時	14時
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けてください。	尿量測定を続けてください。	手術中、尿道にカテーテルを入れます。	カテーテルを抜きます。 歩けるようなら病棟内トイレにて排泄をします。 尿量測定を続けます。		尿量の測定は終了です。		
処置		陰毛のカットをします。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝から点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰って来ます。 背中に硬膜外チューブが付いてくる場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続で実施します。	採血、採尿があります。 8時、酸素投与が中止です。 弾力ハイソックスを脱ぎます。 医師の診察があり、創の消毒をします。 点滴は夕方まで持続です。	背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。	採血、採尿があります。 		（術後6日目） 採血、採尿があります。 医師の診察があります。
準備	必要物品を購入してください。 T字帯1枚・ナプキン	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上に**ナプキン1袋、パンツ1枚、体温計、ティッシュ等**をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。 手術に出られている間にお部屋の移動をする場合があります。						
投薬	内服している薬は続けて服用してください。 寝る前に緩下剤の内服があります。 	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤の内服が出来ますのでお申し出ください。 	麻酔科医の指示で、手術前に安定剤の内服のある場合があります。	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 手術前から飲まれていたお薬をお返しします。				
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きは、看護師が介助して変えます。	病棟内トイレまで歩けます。 最初は看護師がそばで見守ります。	病棟内は制限ありません。	院内は制限ありません。		
食事	制限ありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従ってください。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。 	昼から5分粥になります。 	昼から全粥になります。	昼から普通食になります。	
清潔	入浴可能です。				体を拭いてお下を洗います。 お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。	シャワー浴開始です。 		

膣式子宮全摘術、膣会陰形成術 を受けられる方へ ▪

患者ID:　　病棟:　　主治医　　担当医

氏名　　受持看護師

	入院日	手術前日	（手術前）　手術当日　（手術後）		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目～退院
目標	手術の受け入れができている。 手術前の検査が済んでいる。	体温･血圧･脈拍が安定している。 手術の説明が分かる。	体温･血圧･脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 合併症がなく経過できる。		傷から出血がない。　痛み止めを使って、痛みをやわらげます。　病棟内歩行ができる。				傷に赤み･腫れ･痛みがない。 退院後の生活の注意点､外来受診の必要性もわかる。	
説明	看護師から､入院生活や手術前後の経過や処置について説明します。 	（主治医より） 手術について説明します。 （麻酔医より） 麻酔､手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。 署名後､看護師にご提出ください。	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。 	主治医から､手術の結果について説明があります。 	 記入の必要な書類があれば、 早めに提出してください。					（看護師より） 退院後の生活について説明します。 （主治医より） 退院後の外来受診や服薬などについて説明します。
検温	適時	14時	6時･手術室へ行く前	帰室時　1,2,3,6時間後 それ以後翌日6時まで 4時間毎(指示有り)	6時　10時　14時　19時	6時　10時　14時　19時	6時･14時	14時		14時
排泄	尿量測定を始めます。	尿量の測定を続けてください。	尿量の測定を続けてください。	手術中、尿道にカテーテルを入れます。	排便は歩けるようならトイレに歩きます。 便の時は看護師を呼んでください。				尿道留置カテーテルを抜きます。 尿量の測定を続けてください。	（術後7日目） 尿量測定は終了です。
処置		陰毛のカットをします。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝より点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰室します。 背中に硬膜外チューブが付いてくる場合があります。 点滴は主治医の指示あるまで持続します。	採血､採尿があります。 8時､酸素投与が中止。 医師の診察があります。 点滴は夕方まで持続。	弾力ハイソックスを脱ぎます。 背中にある痛み止めのチューブを抜きます。	採血､採尿をします。 			（術後6日目） 採血、採尿をします。 医師の診察があります。
準備	必要物品を購入してください。 （ T字帯1枚･ナプキン ）	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上に**ナプキン1袋、パンツ1枚、体温計、ティッシュ等**をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。下着はパンツのみつけます。 手術に出られている間にお部屋の移動をする場合があります。							
投薬	内服している薬は続けて服用してください。 寝る前に緩下剤の内服があります。	麻酔科医の指示により内服薬を一時お預かりします。 眠れない時は眠剤の内服が出来ますのでお申し出ください。	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲み始めます。 手術前から飲まれていたお薬をお返しします。					
安静	制限ありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きは、看護師が介助して変えます。	病室内は歩行可能です。 最初は看護師が付き添います。 	病棟内は制限ありません。 				
食事	制限ありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従って下さい。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。	昼から5分粥になります。	昼から全粥です。	昼から普通食です。		
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下を洗います。お手伝いしますが、出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。			シャワー浴開始です。 	

広汎子宮全摘術を受けられる方へ

患者ID:　　病棟:　　主治医　　担当医

氏名　　受持看護師

	入院日	手術前日	（手術前）　手術当日　（手術後）		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院 1/5(木) ～　退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術について分かる。		体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。		体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 創部に問題がない。 嘔気がない。　腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。			体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。　腸の動きが良く、ガスや便が出る。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 残尿が少なく排尿ができる。 退院後の生活の注意点が理解できて、不安がない。	
説明	看護師がお話しをうかがい、入院生活と手術前後の経過や処置について説明をします。	（主治医より） 手術について説明します。 （麻酔医より） 麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。 署名後、看護師にご提出ください。	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。	（担当医師より） 手術の結果について説明があります。 			看護師より膀胱体操について説明します。 		（看護師より） 退院後の生活について説明します。 リンパ浮腫の予防について説明します。 （担当医師より） 退院後の外来受診や服薬などについて説明します。
検温	適時	14時	6時・手術室へ行く前	帰室時 1.2.3.6時間後、それ以後、翌日6時まで4時間毎（ 指示有り ）	10時　14時　19時	6時・10時・14時・19時	6時・14時	14時	
排泄	尿量の測定を始めます。	尿量の測定を続けてください。	尿量の測定を続けて下さい。	尿道にカテーテルを入れます。	医師の指示まで尿道留置カテーテルは入ったままです。　排便時はトイレまで歩けます。 カテーテル抜去後は、尿量の測定をしてください。　排尿後、膀胱に尿が残っていないか看護師が管で尿をとり確認します。 医師の許可があれば、尿量の測定を終了します。				
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	朝浣腸があります。 午後より手術の場合、朝から点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰室します。 背中に硬膜外チューブ、お腹にはドレーンが付いてくる場合があります。 点滴は医師の指示あるまで持続。	採血します。 8時、酸素投与が中止。 医師が診察します。 点滴は夕方まで持続。 朝・夕、抗生剤の点滴もあります。	背中に入っている痛み止めチューブを抜きます。 弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿します。	創部の抜糸をする場合があります。	（術後6日目） 採血・採尿があります。 内診があります。
準備	必要物品を購入してください。 マジックテープ式腹帯3枚サイズ(　　) T字帯2枚 ナプキン	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上に ナプキン1袋、パンツ1枚、 T字帯1枚、腹帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。 その他、手術に必要な物品を看護師がお預かりします。	手術の2時間前までに弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。 手術に出られている間、お部屋の移動をする場合があります。						
投薬	持参されたお薬を一時お預かりします。 寝る前に緩下剤の内服があります。	眠れない時は眠剤を処方しますので、お知らせください。	麻酔科医師の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。	朝より腸の動きをよくする漢方薬を飲みます。 手術前から飲まれていたお薬をお返しします。				
安静	制限はありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きは、看護師が介助して変えます。	ベッドサイドに立ってかまいません。 最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限はありません。	
食事	制限はありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医師の指示に従って下さい。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。	昼から5分粥です。	昼から全粥です。	昼から普通食です。	
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。お手伝いしますが出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。		医師の許可があれば、シャワー浴開始です。	